

又このシンポジウムに就ての問合せは下記宛行はれたい。

The Secretariat

V International Seaweed Symposium

National Research Council Laboratories

1411 Oxford Street, Halifax, Nova Scotia, Canada.

学 会 録 事

会 員 移 動

(昭和38年12月16日より昭和39年3月31日まで)

新 入 会 (6名)

住 所 変 更

姓 名 変 更 (1名)

大 森 (旧姓西林) 長 朗

退 会 (4名)

九万田一己, 当間重幸, 山岸秀夫, 吉田陽一

寄 贈 文 献

藤 山 虎 也 〓増殖研究に現われた問題点に関するシンポジウム〓の紹介, 須藤俊造氏の講演「アサクサノリを中心に培養関係」を中心にして, 水産増殖 第9巻 第2号, pp. 97-102, 1963.

須 藤 俊 造 Intergeneric and Interspecific Crossings of the Lavers (*Porphyra*) 日本水産学会誌, Vol. 29, No. 8, pp. 739-748, 1963.

————— 東京湾を主とした養殖ノリの種類, Vol. 4, No. 4, pp. 28-32, 1957.

照 本 勲 マリモ節間細胞の耐凍性 I, 低温科学. 生物篇, 第20輯, pp. 1-24, 1963 (北海道大学低温科学研究所業績第617号).

津 村 孝 平 ピキシラおよびその近似属の珪藻類, 横浜市立大学論叢, 第14巻 (自然科学系列), 第2号, pp. 67-90, 1963.

————— A systematic Study of Silicoflagellatae 横浜市立大学紀要, Ser. C-45, pp. 1-85, March, 1963.

————— オドントトロピス属の化石珪藻3種, 地学研究, 第14巻, 第5号, pp. 149-150, 1963.

————— *Navicula spectabilis* と *N. mikado* について, 植物趣味, 第24巻, 第3号, pp. 4-7, 1963.

ACTA BIOLOGICA VENEZUELICA: Vol. 3, Art. 17-24, 1963.

БОТАНИЧЕСКИЙ ЖУРНАЛ, Tom. 48, No. 9-11, 1963.

海洋与湖沼 第5巻, 第4期, 1963.

昭和38年度庶務会計報告

(昭和38年4月1日より昭和39年3月31日まで)

庶 務 報 告

1. 昭和38年4月1日 本会評議員改選の結果在京幹事須藤俊造氏(関東地区)評議員に当選, 後任幹事に片田実氏(東京水産大)が委嘱された。
2. 昭和38年4月3日 東京虎ノ門共済会館に於いて本学会懇談会を開催。出席会員33名。
3. 昭和38年4月25日 「藻類」第11巻, 第1号発行。
4. 昭和38年8月25日 「藻類」第11巻, 第2号発行。
5. 昭和38年10月11日 第28回植物学会岡山大会に際しての本学会の諸行事は玉野市に於いて以下の如く行なわれた。

(1) 本学会評議員会, 岡山大学玉野臨海実験所にて, 出席者9名

(2) 講演会, 玉野市海事研修所講堂

- ア 藤山虎也: アサクサノリの細胞学
- イ 福島 博・小林艶子: 南極の淡水藻とくに珪藻について
- ウ プロバゾーリ: 藻類の栄養と形態, 発生
- エ 渡辺 篤: 微細藻類の保存について
- オ 藤原輝子: ダブリンの近況

(3) 本学会第 11 回総会 玉野市海事研修所講義室, 出席者 58 名

- ア 開会挨拶 イ 会長挨拶 ウ 庶務会計報告
- エ 10 周年記念事業として「藻類」第 1 巻より 10 巻までの総索引を作ることに満場一致で決定
- オ 東大海洋研究所に藻類部門の設置を学術会議に要望する件に, 新崎盛敏, 藤山虎也両氏より説明があり, 「在京の評議員が中心となり要望書を作成し学術会議に提出する」ことに決定

(4) 懇談会 国民宿舎玉野荘大広間にて, 出席者約 100 名, 多彩の催があり頗る盛会でであった。

6. 昭和 38 年 12 月 25 日 藻類第 11 巻, 第 3 号発行

7. 昭和 39 年 3 月 31 日現在 会員数 409 名

会 計 報 告

収 入 之 部			支 出 之 部		
会 費	273 人 (388 件)	185,024 ^円	印刷費	Vol. XI-1	54,800 ^円
臨時会費	134 人 (134 件)	51,170		Vol. XI-2	60,600
バック	本誌	242 冊	送 費	Vol. XI-3	37,890
	総索引	14 冊		Vol. XI-1	8,215
	(内金として)	5,320		Vol. XI-2	8,330
利 子	普通予金 (拓銀)	9		Vol. XI-3	5,680
	振替貯金 (普通)	3	通 信 費		6,960
	振替貯金口座	752	消 耗 品 費		1,184
寄 附 金	(38.4.3 虎ノ門会館に於ける本会懇談会より)	2,440	謝 礼		3,000
小 計		280,588	小 計		186,659
前年度繰越金		62,745	次年度繰越金		156,674
総 計		343,333	総 計		343,333

本学会懇談会

昭和39年4月1日、日本水産学会大会を機に、本学会懇談会が東京水産大学に於て開催された。出席者は39名。

片田幹事の司会により始まり、山田会長の挨拶の後、新崎盛敏氏より、海洋研究所、自然保護協会、水質の保護国際会議等について報告があった。その後、特別参加の薬師寺英次郎氏(東邦大、非会員)よりチトクローム結晶と藻類の類縁関係について話題が提供された。又、最近アメリカから帰国された千原光雄氏よりアメリカの藻類学者の紹介と研究につきスライドで説明があった。その後自己紹介等があり散会した。出席者は次の通り。

(ABC順、敬称略)

秋岡英承、新崎盛敏、千原光雄、藤山虎也、福島博、林田文順、久内清孝、稲垣貫一、磯田洋二、岩本康三、亀谷嘉夫、片田実、川嶋昭二、喜田和四郎、鬼頭鈞(非会員)、小林艶子、黒木宗尚、大房剛、尾形英二、岡本一彦、大西一博、大野正夫(非会員)、斎藤譲、斎藤俊一、佐藤重勝、瀬木紀男、須藤俊造、高野秀昭、田中剛、寺本賢一郎、津村孝平、殖田三郎、渡辺篤、簗熙、薬師寺英次郎(非会員)、山田幸男、山田家正、山本海苔研究所(代表荒木氏)、吉田忠生

役員移動

今般、本会幹事、秋岡英承氏移動に伴い、昭和38年4月1日附をもって芳賀卓氏が後任幹事を委嘱された。

本会名誉会員三宅驥一博士は、去る3月30日、病気の為逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します。

日本藻類学会